京都薬用植物園が取り組む24のアクション

守る　つなぐ　伝える

01 見学研修会・イベント・セミナーの企画と実施
02 ツバキ約500品種の系統保存と展示公開
03 京都大学 上賀茂試験地と連携した国際種子交換
04 京都水族館との相互展示による希少生物の保全普及
05 文化財の匠プロジェクトへの参画（椿灰の提供）
06 京の伝統野菜の系統保存と調査
07 上賀茂神社 葵祭への植物の奉納（葵プロジェクト）
08 五條天神宮 節分祭への「神朮」の奉納
09 日本植物園協会 植物多様性保全拠点園としての活動
10 環境省 自然共生サイト認定地の管理と利活用
11 環境省 国内希少野生動植物種の保全と普及啓発
12 京都市民とつくる「Takedaの杜」市民の庭
13 NEXCO西日本・大学・地域保全団体との希少種保全
14 生薬の国産化と地球環境改善に向けた種苗分譲
15 明治の洋館「旧田辺邸」の移築・再生・保存
16 京都伝統文化の森プロジェクトへの地域性種苗の提供
17 ショクダイオオコンニャクのさく葉標本の巡回展示
18 小笠原諸島固有の絶滅危惧植物の保全と増殖
19 八重山諸島におけるキナノキ復元計画の推進
20 京都市動物園との連携による教育普及活動
21 京都市教育委員会・青少年科学センターとの教育連携
22 さすてな京都との児童向け環境教育プログラム開発
23 大学教員との薬用植物の栽培に関する共同研究
24 京都大学大学院 薬学研究科との研究・教育連携

2026年9月1日時点

これらのアクションを通じて、
植物遺伝資源の保全と利活用、研究、教育、文化、地域社会との連携を進めています。